

Dell™ E198FP フラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

モニターについて

[前面図](#)
[背面図](#)
[側面図](#)
[底面図](#)
[モニター仕様](#)
[LCDモニターの品質と画素ポリシー](#)
[モニターのお手入れ](#)

調整可能なモニタースタンドを使用する

[スタンドの取り付け](#)
[ケーブルをまとめる](#)
[チルトの使用について](#)
[スタンドを外す](#)

モニターのセットアップ

[モニターを接続する](#)
[フロントパネルのボタンを活用する](#)
[OSD を使用する](#)
[Dell Soundbar \(オプション\)を使用する](#)

問題を解決する




[モニター固有のトラブルシューティング](#)
[一般的な問題](#)
[製品固有の問題](#)

補足

[注意：安全のしおり](#)
[FCC規定（米国のみ）](#)
[Dell™ に問い合わせ](#)

メモ、注意、警告

このガイドには、アイコンが先頭に付いた文章があります（一部については太字で示されています）。これらの文章は、メモ、注意、警告を表します。

-  **メモ:** コンピュータシステムをより有効に利用するための大切な情報を示します。
-  **注意:** ハードウェア損傷やデータ損失の可能性を示し、この問題を回避する方法を説明します。
-  **警告:** 「警告」の内容は、物体への被害、人物への危害、または死亡の可能性を示しています。

警告には、表記方法が異なるものやアイコンがないものもあります。この場合、警告の特別な表記法が認可機関により義務づけられています。

本書に記載されている事項は事前通告なしに変更されることがあります。
© 2007–2008 すべての著作権は Dell Inc にあります。

Dell Inc. の書面による承諾書なしに本書を複製することは、いかなる方法といえども、固く禁止します。

本書に記載の登録商標: Dell, DELL のロゴ, Inspiron, Dell Precision, Dimension, OptiPlex, Latitude, PowerEdge, PowerVault, PowerApp, and Dell OpenManage はDell Inc. の登録商標です。Microsoftと WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。ENERGY STARはU.S. Environmental Protection Agency (米国環境保護庁)の登録商標です。ENERGY STARのパートナーとして、Dell Inc. は本機をエネルギー効率に関するENERGY STARのガイドラインに準拠させています。

本書に引用される他の登録商標や商標名はその商標や商標名を有する企業もしくは製品に所属します。Dell IncはDell Incに所属しない全ての登録商標及び商標名の所有権についてはこれを放棄します。

Model E198FP

2007年1月 Rev. A02

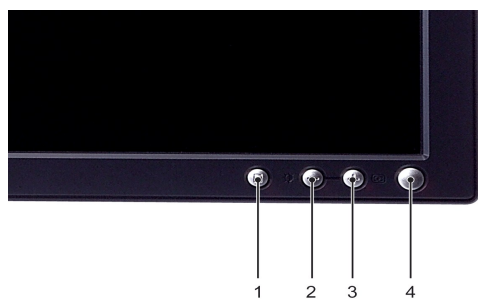
[目次へ戻る](#)

モニターについて

Dell™ E198FP フラットパネルモニター

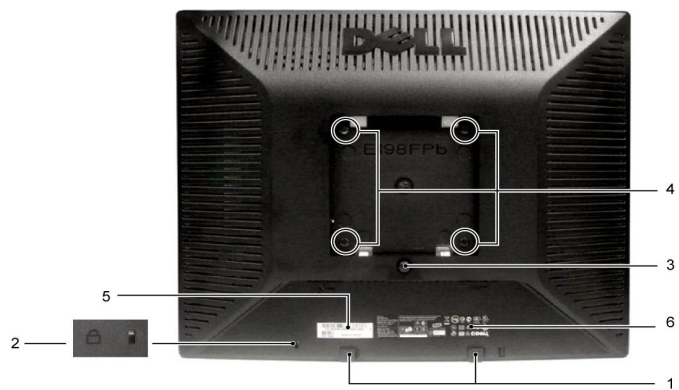
- [前面図](#)
- [背面図](#)
- [側面図](#)
- [底面図](#)
- [モニター仕様](#)
- [LCDモニターの品質と画素ポリマー](#)
- [モニターのお手入れ](#)

前面図



- 1 メニュー選択ボタン
- 2 明るさとコントラスト / ダウン(-)ボタン
- 3 自動調節 / アップ(+)ボタン
- 4 LED インジケーター付電源オン/オフボタン

背面図



1 Dell Soundbar 搭載ブラケット	オプションの Dell Sound Bar の接続用です。
2 セキュリティ ロック スロット	モニタの安全のためのロック接続用です。
3 スタンド取り外しボタン	押してスタンドを解放します。
4 VESA 搭載ホール(100mm - 接続されたスタンドの後ろ)	モニタ搭載用に使用します。
5 バーコード シリアル番号ラベル	テクニカル サポートのために DELL に問い合わせる場合にこのラベルを参照してください。
6 監査機関評価ラベル	監査機関の承認を一覧にしてあります。
7 ケーブルホルダー	ケーブルホルダーを使用してケーブルをまとめ、きちんと整えることができます。

側面図

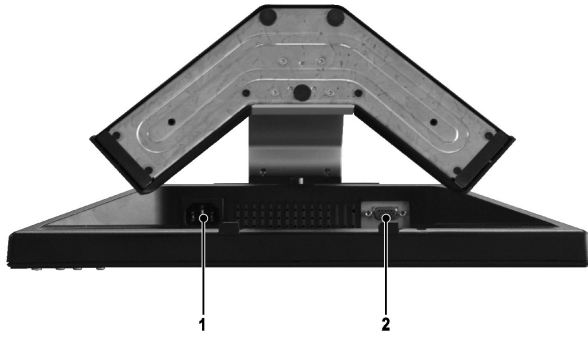


右側面圖



左側面圖

底面圖



-
- 1 AC電源コードコネクタ
 - 2 VGA コネクタ
-

モニター仕様

一般

モデル番号 E198FP

フラットパネル

スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
スクリーン寸法	19インチ (19インチ可視画像サイズ)
プリセット表示領域	
水平	376.3 mm (14.8 インチ)
垂直	301.1 mm (11.8 インチ)
ドットピッチ	0.294 mm
視野角度	約 160°(上下) typ, 約 160°(左右) typ
輝度	300 cd/m ² (typ)
コントラスト比	800:1 (typ)
表面コーティング	反射防止ハードコーティング(3H)
バックライト	4 CCFLs バックライト
応答速度	標準5ms 《ミリセカンド》 (黒から白)

解像度

水平スキャン範囲	30 kHz ~ 81 kHz (自動)
垂直スキャン範囲	56 Hz ~ 76 Hz
最適プリセット解像度	60Hz で1280X1024
最大プリセット解像度	75Hz で1280X1024

プリセットモニターモード

デルでは、以下の表に記載しているすべてのプリセットモードについて、画像のサイズと中央揃えが適切に設定されることを保証しています。

モニターモード	水平 周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平 / 垂直)
---------	-----------------	----------------	-------------------	-------------------

VGA, 720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VGA, 640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+

電気

次の表には電気的仕様が記載されています。

ビデオ入力信号	アナログ RGB、0.7 V +/-5 %、入力インピーダンス 75 オーム
同期入力信号	別々の水平信号と垂直信号; 3.3V Cmos または 5V TTL レベル、正同期または負同期
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 ~ 240 VAC/50 または 60 Hz + 3 Hz/1.0 A (最大)
突入電流	120V: 最大 40 A 240V: 最大 80 A

物理的仕様

次の表には物理的特性が記載されています。

信号ケーブルタイプ	D-Sub: 15 ピン、アナログ (取り外し可能)、出荷時はモニターに接続されていません。
寸法 (スタンド込み):	
高さ	410.9 mm (16.17 インチ)
幅	412.7 mm (16.2 インチ)
奥行き	144.4 mm (5.7 インチ)
重量	
モニター (スタンド、ヘッド)	4.83 Kg (10.7 lb)
モニターの平面パネルのみ (VESA モード)	3.81 Kg (8.4 lb)
重量 (パッケージを含む)	6.32 Kg (13.9 lb)

環境

次の表には環境上の制限が記載されています。


気温:	
運転時	摂氏 5 ~ 35 度 (華氏 41 ~ 95 度)
運転停止時	保管時: 摂氏 0 ~ 60 度 (華氏 32 ~ 140 度) 輸送時: 摂氏 -20 ~ 60 度 (華氏 -4 ~ 140 度)
湿度:	
運転時	10% ~ 80% (結露なきこと)
運転停止時	保管時: 5% ~ 90% (結露なきこと) 輸送時: 5% ~ 90% (結露なきこと)
標高:	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (40,000 ft) 最大

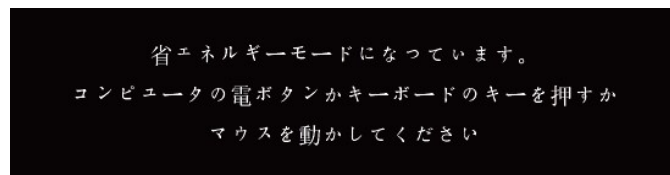
パワーマネージメントモード

お使いの PC に VESA の DPMS 準拠ディスプレイカードやソフトウェアがインストールされている場合、モニタを長時間使用しないと、自動的に省電力モードに入ります。キーボードやマウス、その他の入力デバイスを使うと、モニタは自動的に通常の動作に戻ります。以下の表は、電力消費および自動省電力機能の信号の一覧です。

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	消費電力
通常動作	アクティブ	アクティブ	アクティブ	緑	40.6 W (最大) * 38.1 W (標準)**
アクティブオフロード	非アクティブ	非アクティブ	非表示	オレンジ	2 W 未満
電源オフ	-	-	-	オフ	1 W 未満

*Audio き
*Audio なし

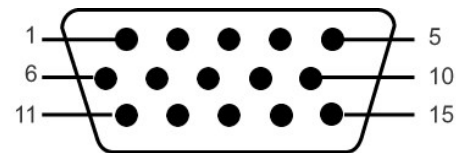
 注: OSD は「通常の動作」モードの時のみ有効です。OSDが有効でないときは選択した入力に基づいて以下のメッセージが表示されます。



[OSD](#) を使用する場合は、コンピュータを起動し、モニターを復帰(ウェイクアップ)させてください。

ピン配列

VGA コネクタ



ピン番号	信号ケーブルの 15 ピン側
1	ビデオ信号 - 赤
2	ビデオ信号 - 緑
3	ビデオ信号 - 青
4	GND
5	自己 (診断) テスト
6	GND-赤
7	GND-緑
8	GND-青
9	PC5V/3.3V
10	GND 同期
11	GND
12	DDC データ
13	水平同期
14	垂直同期
15	DDC クロック

プラグアンドプレイ機能

このモニターは、あらゆるプラグアンドプレイ対応システムで使用できます。モニターでは、DDC(ディスプレイデータチャネル)プロトコルを使用して EDID(拡張ディスプレイ認識データ)をコンピュータシステムに自動的に供給するため、システムは自動的に設定され、モニター設定が最適化されます。ユーザーは、必要な場合は異なる設定を選択できますが、ほとんどの場合モニターの設定は自動的に行われます。

LCDモニターの品質と画素ポリシー


LCDモニター製造プロセスの間、1つ以上の画素が不変状態で固定されるのは珍しい状況ではありません。きわめて小さな暗いまたは明るい変色スポットとして、固定画素が表示されるだけです。

ほとんどの場合、これらの固定画素が見えることはめったになく、ディスプレイの品質または使い勝手を損なうものではありません。1~5の固定画素のあるディスプレイは正常であり、基準内に入っているとみなされています。詳細については、Dellサポートサイト support.dell.comを参照してください。

モニターのお手入れ

モニターの画像を最高の品質に維持するために、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、モニターを使用しないときには電源を切ってください。

 **警告:** モニターを掃除するときには [安全にお使いいただくために](#) をよく読んでその指示に従ってください。

 **警告:** モニターを掃除するときには、モニターの電源コードをコンセントから抜いてください。

- 本機のスクリーンは静電防止対策を施していますので、汚れを取る際には、柔らかい、清潔な布を軽く水に濡らしてクリーンを拭いてください。できれば、静電防止コーティング用の特別な布か溶液を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、表面の粗い布や圧搾空気などは使用しないでください。
- プラスチック部分は軽く水で濡らした暖かい布で拭いてください。洗剤の中にはプラスチック部分にミルク状の薄膜を作るので、どのような洗剤も使用しないでください。
- モニターの梱包を開けたとき白い粉がついていたら、布でふき取ってください。この白い粉はモニターの出荷の際に付着したものです。
- 黒色系のモニターのプラスチック部分は明るい色のモニターに比べ擦ったりすると白い引っかけ痕が目立つので、丁寧に取り扱いってください。

[目次へ戻る](#)

付録:

Dell™ E198FP フラットパネルモニター

- [注意: 安全のしおり](#)
- [FCC規定\(米国のみ\)](#)
- [Dell™ にお問い合わせ](#)

注意: 安全のしおり




警告: このガイドで指定されている コントロール、調整機能、または手順 以外のものを使用する場合、感電、電気・機械上の危険性にさらされる恐れがあります

モニターをコンピュータに接続して使用するときは、次の使用上の注意をよく読んでそれに従ってください。

- 1 コンピュータの損傷を防止しようとするなら、コンピュータ用 電力供給のための電圧選択スイッチを該当する地域に合う交流 と合うように選択してください。
 - 115 V/60 Hz: 北米および南米の大半と、日本、韓国(220 V/60 Hzも可能)、台湾などの極東地域。
 - 230 V/50 Hz: ヨーロッパ全域と、中近東、および上記以外の極東地域また、モニターの電力規格がその国で使用している電源で動作するかどうかを常に確認してください。



メモ: このモニターは AC電圧入力設定のための電圧選択スイッチがなかったら、必要ありません。“電気仕様”部分で定義された範囲内のどんな種類のAC電圧入力も自動的に受容します。

- 1 熱、直射日光、または極端な低温にさらされる場所でLCDモニターを保管または使用しないでください。
- 1 大きな温度差がある場所でのLCDモニターの移動は避けてください。
- 1 LCDモニターを激しい振動や強い衝撃にさらさないでください。例えば、LCDモニターを車のトランクに置かないでください。
- 1 LCDモニターを、高い湿度にさらされる場所や埃っぽい環境で保管または使用しないでください。
- 1 水やその他の液体をLCDモニターの上または内部にこぼさないでください。
- 1 フラットパネルモニターは、室温状態で保管してください。極端な低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響をおよぼします。
- 1 モニターの隙間には絶対に金属類を挿入しないでください。感電の危険が生ずる恐れがあります。
- 1 感電の危険性を避けるため、モニターの内部には絶対に手を触れないでください。モニターケースを開くことのできるのは、技術資格のある者に限られています。
- 1 電源コードが破損しているときは、モニターを絶対に使用しないでください。電源コードの上に 物を置かないようにして下さい。また、人がつまずくような場所に電源コードを設置しない様、注意して下さい。
- 1 モニターのコンセントを抜くときには、コードではなく必ずプラグ部分をつかんで抜いてください。
- 1 モニターキャビネットの隙間は換気用のものです。加熱を防ぐために、これらの隙間をふさいだり、覆ったりしないでください。また、モニターをベッドやソファ、カーペットなどの柔らかい物の上に置いて使用しないでください。そのような物の上での使用は、キャビネット底面の換気用の隙間を塞ぐ恐れがあります。本棚等の閉ざされたスペースにモニターを置くときは、換気が十分に行われるよう気をつけて下さい。
- 1 モニターを設置する時は湿度が低く、ほこりの少ない場所に設置してください。湿気が多い地下室やほこりの多い通路などへの設置は避けてください。
- 1 モニターを雨にさらしたり、水の近く(台所、スイングプールの側など)で使用したりしないでください。誤ってモニターを濡らしてしまったときは、ただちにプラグを抜いて正規のサービス業者に連絡してください。必要によっては湿った布でモニターを拭くことができますが、はじめにモニターのプラグを抜いてからにしてください。
- 1 モニターは固い面の上に置き、取り扱いに注意してください。画面はガラス製なので、落としたり物にぶついたりすると破損する恐れがあります。
- 1 コンセントの近くにモニターを設置するようにしてください。
- 1 モニターが正常に作動しない場合、特にモニターから異常な音や臭いがする場合は、すぐにモニターのプラグを抜き、正規のサービス業者またはサービスセンターに連絡してください。
- 1 モニターの後面のカバーをはずさないでください。感電する恐れがあります。カバーを外す作業は、技術資格のある者に限られています。
- 1 高温での使用は問題を引き起こす原因となります。モニターは直射日光を避けて使用し、ヒーターやストーブ、暖炉などの熱器具から離して使用して下さい。
- 1 モニターを長期間使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- 1 お手入れや点検修理などを行う前には 必ずコンセントからモニターのプラグを抜いてください。
- 1  本製品内部のHg Lamp(s)には水銀が含まれているため、地方自治体、州または連邦法に仕上りがつりサイクルまたは廃棄する必要があります。詳細については、米国電子工業会: <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。

FCC規定(米国のみ)

FCC規定クラスB

本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、無線およびTV受信に障害を与える場合があります。この装置は、FCC規定の第15条に準じ、Class Bデジタル機器の制限に従っています。

本装置はFCC規定パート15に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作を行うことができます。

1. 本装置が有害な障害を発生しないこと。
2. 本装置が不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。



注意: FCC規定は、Dell Inc. の文書による許可なく変更や修正を行った場合は、本装置を操作する権利が失われることを認めています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオやTV受信装置に有害な障害を与える場合は(デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 1 受信アンテナの向きを変える
- 1 受信装置に合わせてシステムの設置場所を変える
- 1 システムを受信装置から遠ざける
- 1 システムと受信装置が別の電源から電源供給を受けられるように、システムを別のコンセントに差し込む

必要なときには、Dell Inc. の担当者か、経験のある無線/TV技術者にお尋ねください。


次の情報は、FCC 規制に準拠し、このマニュアルでカバーするデバイスに用意されたものです。


1 製品名 : E198FP
 1 モデル番号: E198FPb
 1 会社名:
 Dell Inc.
 Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs
 One Dell Way
 Round Rock, Texas 78682 USA
 512-338-4400

Dell™ に問い合わせ


Dell社にはインターネットおよび電話にてお問い合わせいただけます:

- 1 www.dell.com.jp
- 1 ウェブページからサポートを受けるには、support.dell.com (テクニカルサポート) をご覧ください。
- 1 ウェブページから世界各地のサポートを受ける場合、ページ下の【**国 / 地域を選択する**】メニューを使うか、下表に記載のウェブアドレスを参照してください。

 **注:** フリーコール番号は、記載されている国でのみ利用できます。

 **注:** 国によっては、Dell™ XPS™ コンピュータ専用サポートの電話番号が、参加国に記載の番号とは別の場合があります。XPS コンピュータ専用番号が記載されていない場合、記載のサポート用電話番号から、Dell 社にお問い合わせいただければ、担当部署におつなぎします。

- 1 電話でのお問い合わせにつきましては、下表の電話番号とコードをお使いください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 **注:** 提供された連絡先情報は、このドキュメントが印刷された時点で正しいものとみなされ、予告なしに変更することがあります。

国(市) 国際電話アクセス コード 国番号	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E-メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本(川崎)	Web サイト: support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート(海外から)(サーバー)	フリーダイヤル: 0120-198-498
国番号: 81	テクニカルサポート(サーバー)	81-44-556-4162
市外局番: 44	テクニカルサポート(Dimension™ および Inspiron™)	フリーダイヤル: 0120-198-226
	テクニカルサポート(海外から)(Dimension™ および Inspiron™)	81-44-520-1435
	テクニカルサポート(Dell Precision™、OptiPlex™、および Latitude™)	フリーダイヤル: 0120-198-433
	テクニカルサポート(海外から)(Dell Precision™、OptiPlex™、および Latitude™)	81-44-556-3894
	テクニカルサポート(PDA、プロジェクター、プリンター、ルーター)	フリーダイヤル: 0120-981-690
	テクニカルサポート(海外から)(PDA、プロジェクター、プリンター、ルーター)	81-44-556-3468
	Fax情報サービス	044-556-3490
	24時間お届け予定案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部(従業員数400人未満)	044-556-1465
	法人営業本部(従業員数400人以上)	044-556-3433
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-5963
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

[目次へ戻る](#)

Dell™ E198FP フラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

モニターについて

[前面図](#)
[背面図](#)
[側面図](#)
[底面図](#)
[モニター仕様](#)
[LCDモニターの品質と画素ポリシー](#)
[モニターのお手入れ](#)

調整可能なモニタースタンドを使用する

[スタンドの取り付け](#)
[ケーブルをまとめる](#)
[チルトの使用について](#)
[スタンドを外す](#)

モニターのセットアップ

[モニターを接続する](#)
[フロントパネルのボタンを活用する](#)
[OSD を使用する](#)
[Dell Soundbar \(オプション\)を使用する](#)

問題を解決する




[モニター固有のトラブルシューティング](#)
[一般的な問題](#)
[製品固有の問題](#)

補足

[注意：安全のしおり](#)
[FCC規定（米国のみ）](#)
[Dell™ に問い合わせ](#)

メモ、注意、警告

このガイドには、アイコンが先頭に付いた文章があります（一部については太字で示されています）。これらの文章は、メモ、注意、警告を表します。

-  **メモ:** コンピュータシステムをより有効に利用するための大切な情報を示します。
-  **注意:** ハードウェア損傷やデータ損失の可能性を示し、この問題を回避する方法を説明します。
-  **警告:** 「警告」の内容は、物体への被害、人物への危害、または死亡の可能性を示しています。

警告には、表記方法が異なるものやアイコンがないものもあります。この場合、警告の特別な表記法が認可機関により義務づけられています。

本書に記載されている事項は事前通告なしに変更されることがあります。
© 2007–2008 すべての著作権は Dell Inc にあります。

Dell Inc. の書面による承諾書なしに本書を複製することは、いかなる方法といえども、固く禁止します。

本書に記載の登録商標: Dell, DELL のロゴ, Inspiron, Dell Precision, Dimension, OptiPlex, Latitude, PowerEdge, PowerVault, PowerApp, and Dell OpenManage はDell Inc. の登録商標です。Microsoftと WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。ENERGY STARはU.S. Environmental Protection Agency (米国環境保護庁)の登録商標です。ENERGY STARのパートナーとして、Dell Inc. は本機をエネルギー効率に関するENERGY STARのガイドラインに準拠させています。

本書に引用される他の登録商標や商標名はその商標や商標名を有する企業もしくは製品に所属します。Dell IncはDell Incに所属しない全ての登録商標及び商標名の所有権についてはこれを放棄します。

Model E198FP

2007年1月 Rev. A02

[目次に戻る](#)

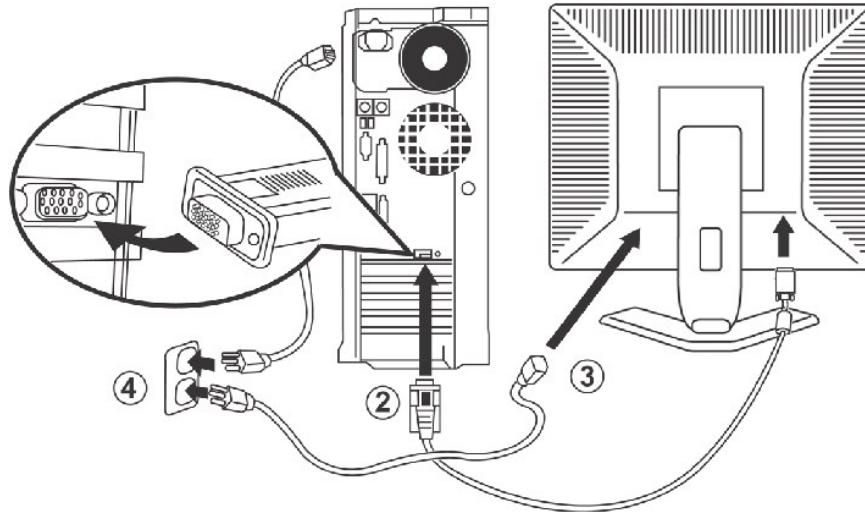
モニターのセットアップ

Dell™ E198FP フラットパネルモニター

- [モニターを接続する](#)
- [フロントパネルのボタンを活用する](#)
- [OSDを使用する](#)
- [Dell Soundbar \(オプション\)を使用する](#)

モニターを接続する

⚠ 警告: この章の作業を始める前に、[安全にお使いいただくために](#)に従ってください。

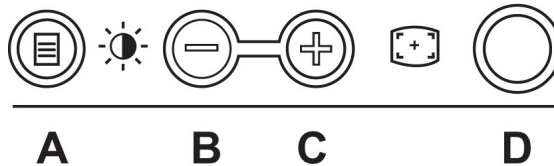



1. コンピュータの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
2. 青(アナログ D-Sub)のモニタ接続ケーブルをコンピュータ背面の 対応するビデオポートに接続します(上記の図は説明のための例であり、実際の背面には異なる場合があります)。
3. モニタの電源コードをモニタ背面にある電源入力端子につなぎます。
4. コンピュータとモニタの電源コードを AC 電源コンセントに接続します。モニタには、周波数 50/ 60 Hz / 100 ~ 240 ボルト用の自動電源装置が搭載されています。使用する電源が、この範囲内であることを確認してください。分からない場合は、最寄りの電力会社にお問い合わせください。
5. コンピュータとモニタの電源を入れます






モニタに画像が表示されたら、取り付けは完了です。モニタに画像が表示されない場合は、[問題解決](#)を参照してください。

フロントパネルのボタンを活用する

表示画像の特性を調整するには、モニタ前面の各コントロールボタンを使用します。コントロールボタンを使用するときには、画面表示システム(OSD)に変更中の数値が表示されます。





A	 メニュー	メニュー ボタンは、オンスクリーンディスプレイ(OSD)を開いたり、メニューやサブメニューを閉じたり、OSD を閉じたりするのに使用します。『 メニューシステムの表示 』を参照してください。
---	---	---

B	 <p>明るさ / コントラスト</p>	<p>ホットキー このボタンは、明るさとコントラストのコントロールメニューを直接表示する場合に使用します。</p>
B, C	 <p>-ボタン、+ボタン</p>	<p>-ボタン、+ボタン これらのボタンは、OSD で設定を調整(範囲を増加 / 減少)する場合に使用します。</p> <p>メモ: +または-ボタンを押し続けることによって、自動スクロール機能をアクティブにできます。</p>
C	 <p>自動調整</p>	<p>このボタンは、自動設定と自動調整を有効にする場合に使用します。現在のビデオ入力信号に対する自動調整が実行されているときには、次のダイアログが画面に表示されます。</p> <p style="text-align: center;">自動調整を行っています</p> <p>自動調整ボタンを使用すると、ビデオ入力信号に対する自動調整ができます。自動調整後も、OSD で周波数とフェーズを変更して、モニタをさらに調整することができます。</p> <p>メモ: アクティブなビデオ入力信号がない間に、または付属ケーブルがないときにボタンを押すと、自動調整は機能しません。</p>
D	 <p>電源ボタンとインジケータ</p>	<p>電源インジケータは緑色に点灯します。この LED が橙色に点灯した場合、モニタは DPMS パワーセーブモードになっています。</p> <p>電源ボタンを押すと、モニタの電源がオンまたはオフになります。</p>

画面表示 / ディスプレイ(OSD)

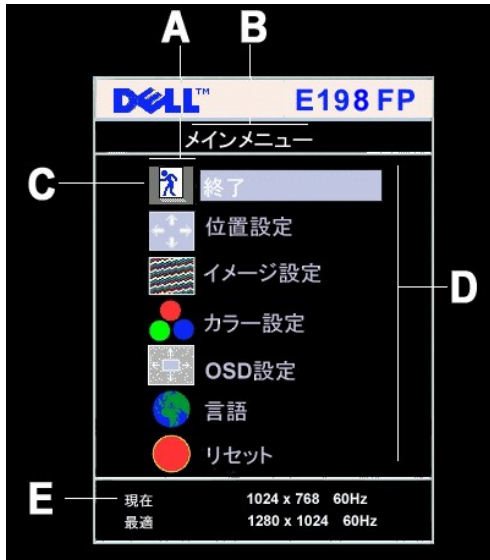
直接表示可能な機能

機能	調整方法
自動調整	<p>このボタンは、自動設定と自動調整を有効にする場合に使用します。現在のビデオ入力信号に対する自動調整が実行されているときには、次のダイアログが画面に表示されます。</p> <p style="text-align: center;">自動調整を行っています</p> <p>自動調整ボタンを使用すると、ビデオ入力信号に対する自動調整ができます。自動調整後も、OSD で周波数とフェーズを変更して、モニタをさらに調整することができます。</p> <p>メモ: アクティブなビデオ入力信号がない間に、または付属ケーブルがないときにボタンを押すと、自動調整は機能しません。</p>
明るさ / コントラスト	<p>メニューがオフの状態 ボタンを押すと、明るさとコントラストの調整メニューが表示されます。</p> <p>明るさ調整機能では、フラットパネルの明るさを調整します。</p> <p>先に明るさを調整し、次にコントラストを調整します。ただし、コントラストは調整が必要な場合のみ調整します。</p> <p>+を押すとコントラストが大きくなります。 -を押すとコントラストが小さくなります。</p> <p>コントラスト調整機能では、表示画面の明暗の差を調整します。</p> <p>+を押すとコントラストが大きくなります。 -を押すとコントラストが小さくなります。</p>

OSDを使用する

メニューシステムの表示

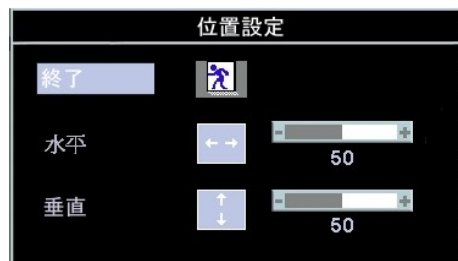
1. メニューがオフの状態ではメニューボタンを押すと、OSD システムが開き、機能のメインメニューが表示されます。



- A 機能アイコン
- B メインメニュー
- C メニューアイコン
- D サブメニュー名
- E 解像度

2. - ボタンと+ボタンを押して、別の機能アイコンを選択することができます。別のアイコンを選択すると、そのアイコンが表す機能または機能グループ(サブメニュー)の名前が強調表示されます。以下の表に、モニタに備わっているすべての機能を示します。
3. メニューボタンを 1 回押すと、強調表示された機能が使用できるようになります。- ボタンと+ ボタンを押して変更する設定を選択し、メニューボタンを押します。スライドバーが表示されます。メニューのインジケータに応じて、- ボタンと+ ボタンを押して変更します。
4. メニューボタンを 1 回押してメインメニューに戻り、別の機能を選択します。または、メニューボタンを 2 回または 3 回押して OSD を閉じます。

アイコン	メニュー名とサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを閉じる場合に使用します。
	位置設定 水平 垂直	<p>モニタ画面の表示領域を調整します。</p> <p>水平または垂直の設定を変更しても、表示領域の大きさは変わりません。行った選択と変更に合わせて表示画像の位置が単純に移動するだけです。</p> <p>最小値は 0(-)で、最大値は 100(+)です。</p>
	イメージ設定	<p>自動調整 コンピュータシステムで起動時に新しいフラットパネルモニタを認識できる場合でも、自動調整機能を使用すれば、特定のセットアップ構成での使用に最適</p> <p>メモ: ほとんどの場合、自動調整を使用すれば、使用システム構成で最も良好な画像が得られます。この機能は、自動調整ホットキーを介して直接ア</p> <p>周波数 フェーズと周波数を調整すると、モニタを自分の好みにより近い状態に調整できます。この設定を表示するには、OSD のメニューで イメージ設定 を選択</p> <p>- ボタンと+ボタンを使用して、干渉が抑制されるよう調整します。最小値は 0 で、最大値は 100 です。</p>



	<p>フェーズ</p>	<p>フェーズを調整しても良好な結果が得られない場合は、周波数を調整してからもう一度フェーズを調整します。</p> <div data-bbox="829 226 1328 613" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #333; color: white; text-align: center;"> <p>イメージ設定</p> <p>自動設定をすると最適なイメージが作成されます</p> <p>終了 </p> <p>自動調整 Menu を押す</p> <p>周波数  50</p> <p>フェーズ  50</p> </div> <p>メモ: この機能により表示画像の幅が変わる場合があります。位置設定メニューの水平位置調整機能を使用して、表示画像を画面の中央に揃えてください。</p>
	<p>カラー設定</p>	<p>色温度と彩度を調整します。</p> <div data-bbox="834 785 1321 1163" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #333; color: white; text-align: center;"> <p>カラー設定</p> <p>標準のプリセット</p> <p>青プリセット</p> <p>赤プリセット</p> <p>ユーザ 終了 </p> <p>赤 100</p> <p>緑 100</p> <p>青 100</p> </div> <p>標準のプリセット デフォルト(工場出荷時の初期設定)のカラー設定に戻す場合に選択します。</p> <p>青プリセット 青みがかった色にする場合に選択します。この色設定は、テキストベースのアプリケーション(スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど)に、</p> <p>赤プリセット 赤みがかった色にする場合に選択します。この色設定は、色を大量に使用するアプリケーション(写真画像の編集、マルチメディア、ムービーなど)に、一般</p> <p>ユーザ ユーザ： +ボタンと-ボタンを使用して、3色(R、G、B)それぞれの彩度を0～100の間で増減させます。</p> <p>メモ: 温度とは、画像の色(赤、緑、青)の「暖かみ」の単位です。用意されている2種類のプリセット(青と赤)では、青または赤が強調されます。それぞれを選択して、その結果表示された画像が見やすいかどうかを確認します。ユーザオプションを使用してカラー設定を自分の好みに合わせて調整します。</p>
  	<p>OSD 設定</p> <p>水平位置</p> <p>垂直位置</p> <p>OSD 表示時間</p>	<p>OSD は、画面上の同じ位置に表示されます。OSD 設定(水平 / 垂直)では、この表示位置を調整できます。</p> <p>—ボタンを押すと OSD が左に、+ボタンを押すと OSD が右に移動します。</p> <p>—ボタンを押すと OSD が下に、+ボタンを押すと OSD が上に移動します。</p> <p>OSD の使用中は、OSD は画面に表示され続けます。 OSD 表示時間 OSD 表示時間では、最後にボタンを押してから OSD が表示されなくなるまでの時間を設定します。 —ボタンと+ボタンを使用してスライダを5秒きざみで動かし、5～60秒の間で設定します。</p>



OSDロック

メモ: デフォルトのOSD保持時間は20秒です。

OSD ロック では、ユーザーによるモニタ設定の調整を制限します。はい(+)を選択すると、ユーザーは調整できません。メニュー以外のボタンはすべて OSD ロックの設定と解除は、メニューボタンを 15 秒以上押し続けても切り替えることができます。



メモ: OSD がロックされているときにメニューボタンを押すと、OSD 設定 メニューが表示されます。この画面では、OSD ロックが有効になっています。いいえ(-)を選択するとロックが解除され、ユーザーがすべての設定を使用できるようになります。



言語

OSD で使用する言語を、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語から選択します。



メモ: 選択した言語は OSD の表示言語としてのみ使用されます。コンピュータで実行されているソフトウェアにはまったく影響はありません。



リセット

選択した機能グループの設定を、工場出荷時の初期設定値に戻します。



終了 は、リセットメニューを終了する場合に使用します。

「全ての設定」の場合、ユーザー調整可能なすべての設定は、「言語」設定を除いて一度にリセットされます。

IR — この機能で、小さな画像残留が補正できます。

LCD条件設定を有効にする: モニタで画像が固まった場合、LCD条件設定を選択し、残留画像を削除します。LCD条件設定機能の使用には、数時間の程度がひどいものは焼付けとして知られ、LCD条件設定機能では、この焼付けを削除することができません。

メモ: 残留画像に問題が発生した場合のみ、LCD条件設定を使います。

ユーザーが[LCD条件設定を有効にする]を選択すると、下記の警告メッセージが表示されます:

この機能はまれに生じる残像を削減するのに役立ちます。
残像の度合いによりプログラムを実行するまで時間がかかることがあります。

続行しますか?

- いいえ

はい +

メモ: モニタのボタンをどれか押すと、LCD条件設定が終了できます。

LCD コンディショニングを実行中です。モニタ上の任意のボタンを押すと、
LCD コンディショニングをいつでも終了できます。

DDC/CI — DDC/CIコントロール機能を有効にします。

DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ (明るさ、配色等)を調整
デフォルトは、[有効]です。[無効]を選択して、この機能を無効にすることができます。

ユーザーがもっとも使いやすく、モニターの最適パフォーマンスを保つため、この機能は有効にしてください。

メモ: ユーザーが[無効]を選択する場合、下記のような警告メッセージボックスが表示されます。[はい]を選択すると、DDC/CI が無効となり、[工場出荷時にリセット]メニューに戻ります。警告メッセージは、20秒でタイムアウトとなります。

PCアプリケーションを使用してディスプレイ設定を
調整する機能は無効になります。

DDC/CI はオフに変わってもいいですか?

- いいえ

はい +

自動保存

OSD が開いている状態で、調整後に別のメニューに移動した場合、または OSD を終了した場合は、実行したすべての調整が自動的に保存されます。調整後 OSD を終了しないで表示させたままにし、OSD が自動的に画面から消えた場合も、調整は保存されます。

OSD 警告メッセージ

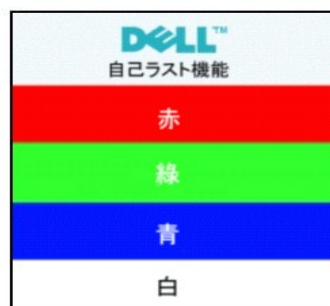
モニタが同期しなくなった場合、以下の警告メッセージが画面に表示されることがあります。

このビデオモードを表示できません

最適解像度 1280 x1024 60Hz

このメッセージは、コンピュータから受信している信号にモニタが同期できていないことを示しています。使用するモニタに対する信号の周波数が高すぎるまたは低すぎるのが原因です。このモニタで対応している垂直および水平周波数範囲については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは 1280 X 1024 / 60 Hz です。

メモ: モニタでビデオ信号が検出されない場合、Dell 自己ラスト機能チェック ダイアログが画面に表示されます。



警告メッセージが表示されませんが、画面に何も表示されない場合も、モニタとコンピュータ間で同期が取られていない可能性があります。詳細については、[問題を解決する](#)を参照してください。

Dell Soundbar (オプション)を使用する

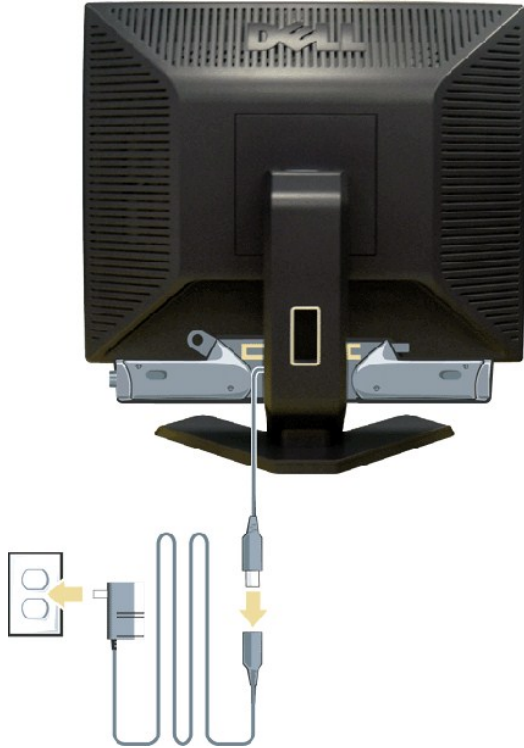
Dell Soundbar (サウンドバー)は、Dell フラットパネルモニタに取り付け可能な、4 スピーカー / 2 チャンネル構成のシステムです。Soundbarには回転式ボリューム、全体的なシステムレベルを調整するためのオン/オフコントロール、電源表示のための青色のLED、2個のオーディオヘッドセット ジャックが付いています。



1. ヘッドフォン・コネクタ
2. 電源インジケータ
3. 電源/音量調節

Soundbar のモニタへの取り付け





1. モニタの背面を表に向け、下のほうにある 2 つのツメを Soundbar の 2 つのスロットにはめ込みます。
2. 固定されるまで Soundbar を左にスライドさせます。
3. Soundbar を電源アダプタに接続します。
4. 電源アダプタのケーブルを近くの電源コンセントに差し込みます。
5. 緑色のステレオミニプラグの一方の端を Soundbar の背面に差し込み、もう一方の端をコンピュータのオーディオ出力ジャックへ差し込みます。

➡ **注記:** Dell™ サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

📌 **メモ:** サウンドバーの電源コネクタ - 12V DC出力は、オプションのDell™サウンドバー専用です。

[目次に戻る](#)

[目次へ戻る](#)

問題を解決する

Dell™ E198FP フラットパネルモニター

- [モニタ固有のトラブルシューティング](#)
- [一般的な問題](#)
- [製品固有の問題](#)

警告: この章の作業を始める前に、[安全にお使いいただくために](#) に従ってください。

モニタ固有のトラブルシューティング

自己診断機能チェック

お使いのモニタには自己診断機能が搭載されており、モニタが適切に機能しているかどうかを確認できます。モニタとコンピュータが正しく接続されているが、モニタ画面に何も表示されない場合、以下の手順でモニタの自己診断を行ってください。

1. コンピュータとモニタの電源をオフにします。
2. 外部電源コードをコンピュータの背面から外します。自己診断機能を正常に実行するため、アナログ(青いコネクタ)ケーブルをコンピュータの背面から外します。
3. モニタの電源をオンにします。

モニタがビデオ信号を感知することができず、正しく作動している場合は、浮動の "DELL-自体検査機能" のダイアログボックスが画面(黒の背景)に現れなければなりません。テストモードの間は、電源の LED が緑のままです。また、選択した入力によって、以下に示されたダイアログの一つが、引き続き画面上でスクロールします。



4. システムが正常に動作している場合でも、ビデオケーブルが外れていたり損傷しているときにはこのボックスが表示されます。
5. モニタの電源をオフにしてビデオケーブルを再び接続し、コンピュータとモニタの電源をともにオンにします。

上記の手順を使用してもモニタ画面に何も表示されない場合は、ビデオコントローラとコンピュータシステムをチェックして、モニタが正しく機能しているかどうかを調べてください。

OSD 警告メッセージ

OSD関連の問題については、[OSD 警告メッセージ](#)をお読みください。

一般的な問題

次の表は、発生する可能性があるモニターの一般的な問題についての情報を集録したものです。

一般的な兆候	発生する問題	解決方法
画像なし / 電源 LED オフ	画像が表示されない、モニタが動作しない。	<ol style="list-style-type: none">1 ビデオケーブルがしっかりと接続されているかどうかを確認します。1 コンセントを調べます。1 電源ボタンが完全に押されているかどうかを確認します。
画像なし / 電源 LED オフ	画像が表示されない、モニタの画面が明るくならない。	<ol style="list-style-type: none">1 明るさとコントラストの設定を高くします。1 モニタの自己診断機能チェックを実行します1 D-subケーブルのピンが曲がったり折れたりしていないかを確認します
焦点のずれ	画像がぼやけている、はっきりしない、ゴーストが出る。	<ol style="list-style-type: none">1 自動調整ボタンを押します。1 OSD で位相とクロックを調整します。1 ビデオ延長ケーブルを使用しないようにします。1 モニタをリセットします。1 ビデオ解像度を低くするか、フォントサイズを上げます。

画像の揺れ	画像が波打つ、微妙に動く	<ul style="list-style-type: none"> 1 自動調整ボタンを押します。 1 OSD で位相とクロックを調整します。 1 モニタをリセットします。 1 環境状況を確認します。 1 別の部屋でテストしてみてください。
画素欠け	液晶画面に黒い点が見つかる	<ul style="list-style-type: none"> 1 電源をいったん切り、入れ直します 1 モニタの動作中に常時点灯する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
常時点灯する画素	液晶画面に光る点がある	<ul style="list-style-type: none"> 1 電源をいったん切り、入れ直します 1 モニタの動作中に常時点灯する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
明るさの問題	画像が暗すぎるか明るすぎる。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタをリセットします。 1 自動調整ボタンを押します。 1 明るさとコントラストの設定を調整します。
幾何学的歪み	画面が正しく中央に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 1 "位置設定のみ" のモードで モニターの再設定を実行します。 1 自動調整ボタンを押します。 1 センターリングコントロールを調整します。 1 モニターが適切なビデオモードになっているか確認します。
水平 / 垂直線	画面に 1 本以上の線が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 1 "全部の設定" でモニターを再設定します。 1 自動調整ボタンを押します。 1 OSD で位相とクロックを調整します。 1 モニタの自己診断機能チェックを実行して、これらの線が自己診断モードでも表示されるかどうかを確認します。 1 ピンが曲がったり破損していないかを確認します。
同期の問題	画面にスクランブルがかかる、または小さい傷が見える。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタをリセットします。 1 自動調整ボタンを押します。 1 OSD で位相とクロックを調整します。 1 モニタの自己診断機能チェックを実行して、自己診断モードでもスクランブルのかかった画面になるかどうかを確認します。 1 D-subケーブルのピンが曲がったり折れたりしていないかを確認します 1 セーフモードで起動します。
液晶画面の引っかき傷	画面に引っかき傷やしみがある。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタの電源をオフにし、画面をクリーニングしてください。 1 クリーニングの注意事項については、モニタのお手入れについてをご覧ください。
安全に関する問題	煙や火花が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 1 トラブルシューティングの手順は一切行わないで下さい。 1 モニタを交換する必要があります。
一時的に動作しなくなる問題	モニタが正常に動作することもあれば、しないこともある。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタが正しいビデオモードになっているかどうかを確認します。 1 コンピュータとフラットパネルモニタにビデオケーブルがしっかり接続されていることを確認します。 1 モニタをリセットします。 1 モニタの自己診断機能チェックを実行して、自己診断モードでも一時的に動作しない現象が発生するかどうかを確認します。
色が表示されない	画像に色が付いていない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの自己テスト機能チェックを実行します。 1 ビデオケーブルの両端が正しく接続されていることを確認します。 1 ピンが曲がっていたり折れていたりしていないことを確認します。
正しい色が表示されない	画像の色がよくない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 カラー設定を "ユーザー" に変更します。 1 "ユーザー" の R/G/B 値を調整します。
長時間モニタに表示されたままの静止画を維持	スクリーン上に静止したままの画像に薄いシャドウが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 1 省電力機能を使って、モニタを使用していないときにはモニタの電源を切るように設定する。 1 またはダイナミックに変わるスクリーンセーバを使う。
画像の解像度(聖しか像から)	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> 1 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニタの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバを使用します。長期間モニタに残ります。 1 OSDメニューでは、工場出荷時にリセットで、[LCD条件設定を有効にする]を選択します。このオプションを使用すると、画像が削除されるまで、数時間かかることがあります。 <p>注意: 画像焼付けは、保証適用外です。</p>

製品固有の問題

問題	状態	解決方法
画面の画像が小さすぎる	画像が画面中央に表示されるが、表示領域全体に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタの全設定をリセットします。

<p>前面パネルのボタンでモニタの調整ができない OSD が画面に表示されない。</p>	<p>OSD が画面に表示されない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 モニタの電源をオフにして電源コードを抜き、再びコードを差し込んで電源をオンにします。 1 OSD はロック状態です。メニュー ボタンを15秒間押し続けて OSD メニューをロック解除します。
<p>モニターが省エネルギーモードにならない。</p>	<p>LED ランプが緑になり、画像が表示されない。"+", "-", またはメニューボタンを押すと、"入力信号なし" というメッセージが表示される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 マウスを動かすか、コンピュータのキーボードのキーを押します。または、ビデオ再生ソフトを起動します。次に、OSD にアクセスして、オーディオとビデオの両方をオフにします。
<p>画面調節ボタンを押しても、入力信号がない。</p>	<p>LED ランプが緑になり、画像が表示されない。"+", "-", またはメニューボタンを押すと、"入力信号なし" というメッセージが表示される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 信号ソースを確認します。このとき、マウスを動かすかキーボードのキーを押して、コンピュータが省エネルギーモードに入っていないことを確認します。 1 S-Video ビデオ、コンポジットまたはコンポーネントのビデオソースの電源が入っていて、ビデオメディアが再生されていることを確認します。 1 信号ケーブルが正しく挿入されていることを確認します。必要に応じて、信号ケーブルを外してから接続し直します。 1 コンピュータまたはビデオプレイヤーを再起動します。

[目次へ戻る](#)


[目次へ戻る](#)

調整可能なモニタースタンドを使用する

Dell™ E198FP フラットパネルモニター

- [スタンドの取り付け](#)
- [ケーブルをまとめる](#)
- [チルトの使用について](#)
- [スタンドを外す](#)

スタンドの取り付け

 **メモ:** スタンドは、モニターが工場から出荷されるときには取り外されています。



1. スタンドを平らな場所に設置します。
2. モニタ背面の溝をスタンド上部の2つの歯に当ててください。
3. モニターの取り付け部分がスタンドにパチンとはまり、ロックされるまで下ろします。

ケーブルをまとめる



すべての必要なケーブルをモニターとコンピューターに取り付けてから([モニターを接続する](#) を参照)、ケーブルホルダーを使用して、上記にあるようにすべてのケーブルをきちんと整えます。

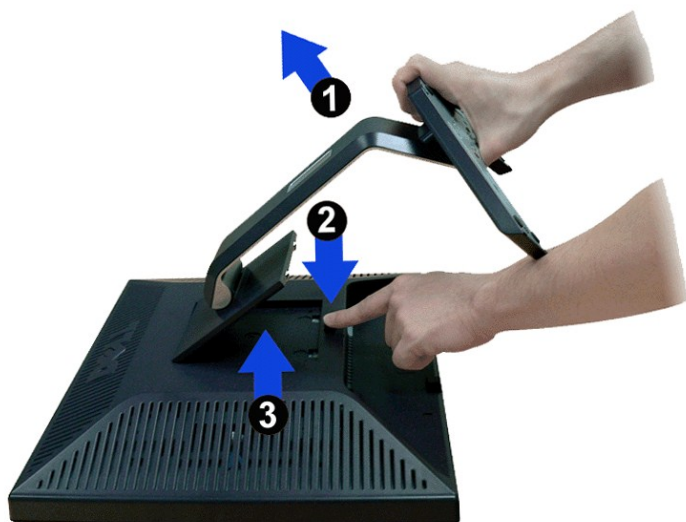
チルトの使用について


組込まれた台座を使用して、最も快適に見えるアングルにモニタを傾けることができます。



スタンドを外す

モニターのパネルを柔らかい布またはクッションに伏せて、LCDの取り外しボタンを押し、スタンドを取り外します。



 **メモ:** スタンドを取り外す際LCDスクリーンにキズがつかないように、モニタの周りにはモノを置かないでください。

[目次へ戻る](#)